

カラリストと一般の方のドレーピングによる印象評価の差異

Difference of evaluation on draping between colorist and non-colorist

疋田千枝 Chie Hikita 市場丈規 Takenori Ichiba 近藤恵未 Emi Kondo 近藤ひろみ Hiromi Kondo
 菅育子 Ikuko Suga 多田真奈美 Manami Tada 富本いちこ Ichiko Tomimoto ながなわ久子 Hisako Naganawa
 吉田名保美 Naomi Yoshida 足達朝子 Asako Adachi 竹川一良 Kazuyoshi Takekawa (くらしの色彩研究会)

Keywords: パーソナルカラー診断, ドレーピング, 印象評価

1. はじめに

パーソナルカラー診断時にドレープが顔色に及ぼす影響(1)、(2)を第42回色彩学会全国大会で発表した。この発表に対し、診断評価したのがカラリストのため、ドレーピング前にモデルのシーズン判断をしてしまい、それがドレープを見ての評価に影響したのではないかという疑問・意見が寄せられた。そこで、カラリストと一般の方でドレーピングによる印象評価にどの程度の差があるかを調査した。

19歳の女子学生をモデルに、カラリスト10名と一般の方50名で印象評価実験を行った。

結果は、カラリストも含め、バラつきはあるが、平均すると最も好印象のシーズンはカラリストも一般の方のどの年代も一致し、他シーズンとの差異も明瞭であった。

2. 試験条件と評価方法

1) 照明条件は高演色性LEDライト(東芝ライテックLEDミニライト600クラス:5000K、Ra=92以上)13.3W2灯を顔に対し仰角45°水平方向左右に各45°距離2mに設置し、3波長型蛍光灯昼白色(天井部)を補助光源として用いた。評価時の照度は会場間でやや異なり、顔中央部で800~1000lxであった。尚、照度計にはトプコンIM-2D(JIS A級準拠)を使用した。

2) 被験者として、普段通りの化粧をした19歳の女性を用いた。

3) 評価者としては、カラリスト10名(20歳代~60歳代・男性1名)と一般のシニア(60歳以上)24名、ミドル

(30~45歳)13名、ヤング(18~19歳)13名を用いた。一般評価者の性別は男性2名(ヤング)、女性48名であった。評価実験は年代ごとに別の日に異なる場所で行った。(図1、図3、図5)

4) ドレープはピンク、レッド、ブルー、グリーンの4シーズン診断用テストドレープを用いた。ドレープのNCS値を図2、表1に示す。NCS値は視感測色によってNCS INDEX1950から近似色を求めた。

5) 評価方法はドレープによる被験者の印象の良し悪しをカラーカテゴリーごとに一対比較法で評価した。

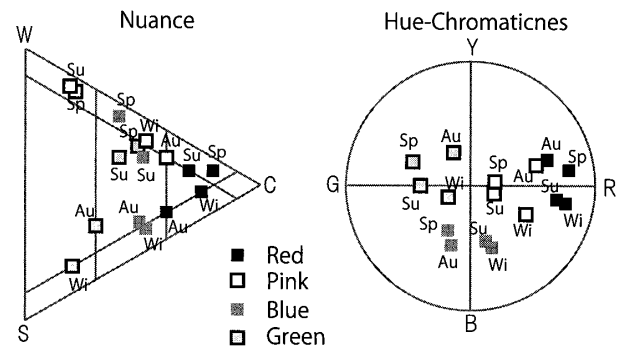


図2. ドレープの色分布

表1. ドレープの色分布(NCS表示)

	Spring	Summer	Autumn	Winter
Pink	S0520-Y90R	S0520-R20B	S1060-Y80R	S1050-R30B
Blue	S0540-B30G	S1550-R80B	S4050-B20G	S4050-R80B
Green	S1050-G25Y	S2040-G	S5030-G70Y	S7020-B70G
Red	S0580-Y90R	S1070-R10B	S3060-Y80R	S1575-R10B



図1. シニア層を対象とした評価実験の様子



図3. ミドル層を対象とした評価実験の様子

3. 評価結果

評価結果を表2に、サーストン(ケースV)による距離尺度表示を表3及び図4に示す。

表2-1. 一対比較法による集計結果(率):Colorist

	Spring	Summer	Autumn	Winter	比率(%)
Spring	—	0.39	0.82	0.50	28
Summer	0.61	—	0.84	0.85	39
Autumn	0.18	0.16	—	0.45	13
Winter	0.50	0.15	0.55	—	20

表2-2. 一対比較法による集計結果(率):non-Colorist

	Spring	Summer	Autumn	Winter	比率(%)
Spring	—	0.45	0.70	0.48	27
Summer	0.55	—	0.73	0.77	34
Autumn	0.30	0.27	—	0.41	17
Winter	0.52	0.23	0.59	—	22

表3-1. サーストンケースVによる距離尺度:Colorist

	Spring	Summer	Autumn	Winter	Average
Spring	—	-0.29	0.93	0.00	0.22
Summer	0.29	—	0.98	1.04	0.77
Autumn	-0.93	-0.98	—	-0.13	-0.68
Winter	0.00	-1.04	0.13	—	-0.30

表3-2. サーストンケースVによる距離尺度:non-Colorist

	Spring	Summer	Autumn	Winter	Average
Spring	—	-0.13	0.52	-0.04	0.12
Summer	0.13	—	0.62	0.73	0.49
Autumn	-0.52	-0.62	—	-0.21	-0.45
Winter	0.04	-0.73	0.21	—	-0.16

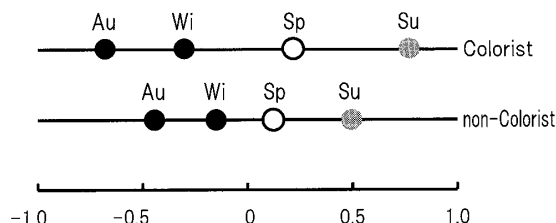


図4. カラリストと一般との印象評価



図5. ヤング層を対象とした評価実験の様子

4. 結論・考察

1) シーズン評価は、カラリストと一般の方で評価のばらつきの差はあるが、傾向は一致した(表3、図4)。

2) 表2-1から判るようにカラリスト間でも評価にばらつきがみられた。

3) 一般の方の年代による評価差もみられるが、最も高評価のシーズンには差がなく(表4、図6)、低評価同士の比較は難しいことを示していると考えられる。

5. おわりに

1) 被験者数からしてこれだけでカラリストと一般の方では評価に大きな差がないと断定するのは早計であり、今後追試による検証を行っていききたい。

2) カラーカテゴリーごとのシーズン間の距離尺度の違いや年代間差、カラリスト間の評価差など、この評価実験からいくつかの興味深い傾向も見られた。今後の研究課題としたい。

表4-1. 一対比較法による集計結果(率)-Senior

	Spring	Summer	Autumn	Winter	比率(%)
Spring	—	0.47	0.71	0.52	29
Summer	0.53	—	0.77	0.73	34
Autumn	0.29	0.23	—	0.33	14
Winter	0.48	0.27	0.67	—	23

表4-2. 一対比較法による集計結果(率)-Middle

	Spring	Summer	Autumn	Winter	比率(%)
Spring	—	0.52	0.54	0.48	26
Summer	0.48	—	0.69	0.69	31
Autumn	0.46	0.31	—	0.62	23
Winter	0.52	0.31	0.38	—	20

表4-3. 一対比較法による集計結果(率)-Young

	Spring	Summer	Autumn	Winter	比率(%)
Spring	—	0.46	0.58	0.40	24
Summer	0.54	—	0.58	0.77	31
Autumn	0.42	0.42	—	0.54	23
Winter	0.60	0.23	0.46	—	21

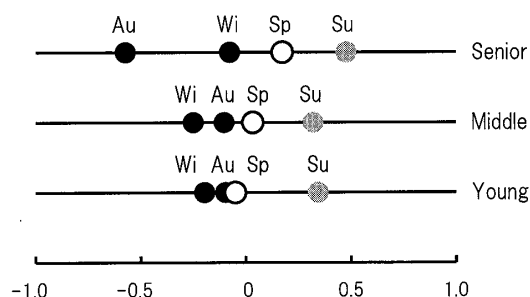


図6. 一般の年代別印象評価